

## 藤沢で味わう お茶の文化 「日本茶専門店 茶来未(ちやくみ)」

藤沢市でお茶というピンとこないかもしれないが、世界緑茶コンテスト最高金賞受賞、藤沢マイスター認定茶師が運営する自社製茶工場直営店。日本茶の歴史やお茶作り、製造方法や飲み方に至るまで徹底的に研究し、時代に合ったお茶の楽しみ方を提案してくれる。高級茶、定番茶、健康茶などの他にも、香り豊かなアイスもおすすめ。茶師がおいしいお茶の淹れ方も教えてくれる。



< DATA >  
→ <http://www.chakumi.com>

## Design

## 藤沢市にアトリエを持つ ソーイングパターンの専門店 「パターンレーベル Online Shop」

片貝夫妻が、15年間二人三脚で営んできた型紙専門オンラインショップの人気店。アパレル企業でデザイナー・パタンナーのキャリアを持つつた起さんがデザインし、広告代理店に勤務していた主作さんがプロデュース。ソーイング関連の著作本は累計20万部販売する人気作家さんでもある。藤沢市にアトリエを構えるパターンレーベルはただいま鶴沼海岸にソーイングのワークショップやイベントを開催する実店舗をオープン準備中。今後のパターンレーベルに乞うご期待！



< DATA >  
→ <http://www.pattern-label.com>

## 手書き愛にあふれる場所 藤沢から 「手書き地図推進委員会事務局」

さまざまな分野で活躍している藤沢の人たちが、あまりにも手書き地図がいとしくなってきた事務局。全国各地の「手書き地図」を紹介し、土地固有の面白さやユニークさを発見してもらうことを目的として設立され、今年で7年目。藤沢の片隅からその活動は全国に広がりがつつあり、手書き地図の講習会や本を出版。今や若者たちに人気の「手書き地図」という一つの文化を藤沢から発信。



< DATA >  
→ <http://www.tegakimap.jp>

ベトナムに何度も足を運び製造ルートを独自に確保。なんといってもトレンドを捉えたオリジナルのデザインはワクワクドキドキ♡

## 湘南発 オリジナルプラバッグブランド 「jollies(ジョリーズ)」

20年ほど前に藤沢にほれ込んで移住してきたという木村正哉さん、人美さん夫妻が藤沢市鶴沼で始めたプラバッグのブランド。jolliesのプラバッグはどれもカラフルでおしゃれ！サーフカルチャーが根付いた地域で人気が出たが、今や銀座や渋谷に出店したり、ファッション雑誌で特集が組まれたりなど、ファッションリーダーたちの注目が集まっている。超エモい感じのこのお店は、かなり分かりにくい場所にあるので、たどり着いたら奇跡！



< DATA >  
→ <https://www.jollies.jp>

## 徹底的に遊ぶ 「株式会社デジサーフ」 [DIGISURF, Inc.]

藤沢市社堂でIT企業として誕生。「サーフィン好きが高じて波情報サイトを作ったら、有名芸能人のお気に入りサイトとして各種メディアに取り上げられるようになった」と社長の高橋氏。いつの間にか仕事は広がり公園のBBQ場運営を開始した。駅前大規模遊休地、駅ビル屋上のBBQ場は2019年のイクメンフェスなどを大いに盛り上げ、BBQ場経営プロデュース事業は、5年で約20倍の成長を遂げた。気が付けば都市型レジャーをけん引する存在になり、2020年は、海外にも進出。藤沢は遊びに真面目、真面目に遊ぶ人たちが成功をする場所かもしれない。



< DATA >  
→ <https://digisurf.co.jp>

BBQ場は藤沢から横浜、東京、海外へと進出中！

## 日本古来の藍染めを守り、 隠れた名品を世に送る 話題の「LITMUS(リトマス)」

服好き、古着好きの大学時代の同級生、松井さんと吉川さんが藤沢に立ち上げた藍染め工房。骨董市で見つけた明治初期の野良着の藍の色が原点だという。愛用品を藍で染める「染め直し」のオーダーの他、オリジナルのシャツやバッグなどの小物も人気。日本の文化とオシャレ感がファッション界でも話題に。海外からも問い合わせが後を絶たない。



< DATA >  
→ <http://www.litmus.jp>

## なぜ藤沢は新しいビジネスがどんどん生まれるのか？

# Fujisawa's Business

## AI・Robot

藤沢は、昔から優秀な開発者や先進技術の会社生まれ育つ土壌がある気がする。

ノーベル化学賞を受賞した吉野彰さん(藤沢市在住)をはじめとして、最先端の技術やものづくりを追いかけている場所、人、モノがある。

## 空の産業革命を藤沢から 「ドローン社会共創コンソーシアム」

藤沢市遠藤にある慶應義塾大学SFC研究所では、ドローンが私たちの生活を支える「ドローン前提社会」の実現を目指した研究が進められている。ドローン前提社会では、ドローンが荷物を運び、子どもの様子を見守り、田んぼや畑で作物の様子を観察し、必要に応じて世話をする。やがて、ドローンは人や重いモノを運べるようになり、人とモノの「移動」が変化していく。これからの藤沢はこの研究の中心地として、まさにドローンと共生して「空を活用する街」へと変化する。



< DATA >  
慶應義塾大学SFC研究所 ドローン社会共創コンソーシアム  
→ [https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/consortium/drone\\_cons](https://www.kri.sfc.keio.ac.jp/ja/consortium/drone_cons)

## 猫を幸せにするテクノロジー開発 「株式会社ハチたま」

猫の世界にまでIoT(Internet of Things)が発信されている。藤沢市片瀬海岸から誕生したIoTスマートねこトイレ「toiletta(トレッタ)」は、猫がトイレに入ると自動で健康データを取得、スマホのアプリに通知するヘルスケアサービスだ。さらにデータと連携した獣医師の往診サービス・AIによる見守り機能なども提供。「ねこが幸せになれば人はもっと幸せになれる」。藤沢から世界中の猫を健康にするにやる。



< DATA >  
→ <https://toiletta.jp>

藤沢の人は、仕事を楽しむのがうまい。楽しみを仕事にするのがうまい。遊びが仕事に、仕事遊びに。お金のため？名譽のため？藤沢の人には心ときめく仕事をする人が多い。ぜひ藤沢のビジネスに注目してください。

## 君はロボテラスを知っているか 最先端ロボット集結「ロボテラス」

社堂駅前にあるロボテラス。実用化されている生活支援ロボットの見学&体験をすることができる。コミュニケーションロボ、マッスルスーツ、ヒーリングロボ、モビリティロボ。ロボットと暮らす世界は藤沢から始まるのかも。



< DATA >  
公益財団法人湘南産業振興財団 ロボテラス  
→ <https://robotterrace.jp>

## 日本文具大賞からロボット開発まで 「株式会社モールドテック」

藤沢市葛蒲にある小さな設計事務所が面白い。製品設計や金型設計をコツコツ行ってきた落合孝明社長が中心となって開発した、折り目がつかない「CLIP」は日本文具大賞を受賞。また、同社はロボットをはじめさまざまな製品開発に参画し、世界最大級のロボット・トレードショー『2019国際ロボット展』にも出展したりしている。藤沢市のゆるキャラ「ふじキュン♡」の立体塗り絵も3Dプリンターで作っちゃった、すごい可能性を秘めた設計屋さん。ぜひ探しに来てほしい。



< DATA >  
→ <http://www.pluto.dti.ne.jp/m-tec>